

2019年7月19日(金) 東奥日報3面掲載

## 大連理工大生が来県 県庁で副知事と懇談

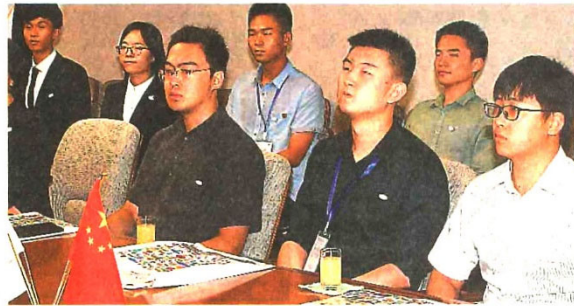
電力施設など視察

弘前大学と交流協定を結んでいる中国の大連理工大学の学生らが18日、県庁を訪ね、青山祐治副知事と懇談した。

県庁を訪れたのは、エネルギー関連施設の視察や弘大生との交流のため、17日から本県に滞在している同大の学生、大学院生18人と教員2人。

青山副知事は「県内の環境・エネルギー関連施設のほか、豊かな自然環境や伝統文化に触れ、本県の魅力を感じてほしい」と歓迎した。大連理工大大学院後期博士課程の吳鵬さん(25)は「今回の滞在を自身のこれからの研究と国際的な視野につなげていきたい」と話した。

青山副知事と懇談する  
大連理工大学の学生ら



一行は津軽バイオマスエナジー(平川市)や次世代エネルギーパーク(六ヶ所村)などのエネルギー関連施設を見学。弘大生と討論会を行うほか、十和田湖や立佞武多の館(五所川原市)といった県内の観光地を巡り、23日に帰国する。

(野村遙)

※この画像は当該ページに限って東奥日報社が  
利用を許諾したものです。

東奥日報社に無断で転載することを禁止します。

[問合せ先]弘前大学理工学研究科

E-mail:r\_koho@hirosaki-u.ac.jp